

# 第3次地域福祉推進計画

令和3年度～令和7年度



多機能型事業所ひと花作品

社会福祉法人

神河町社会福祉協議会

はじめに

神河町社会福祉協議会では、これまで様々なイベントや事業などを通じて、人々がつどい、心通わせる機会を設けてきました。さらには、誰もが支え・支えられるものであるとの考えのもと、地域共生社会を推し進めるため、まずは各集落へ出向き、町健康福祉課とで「地域協議体」（支え合い会議）の必要性について丁寧に説明をおこなっているところです。地域では、様々な生活課題、地域課題に対し、相手への思いやりを持って、また弱い立場の人に優しく寄り添いながら解決することの大切さが実感され始めています。しかし、今般のコロナ禍においては、人々が集まる機会が制限され、交流の機会が大きく減り、人々の意識にも変化が見られるようになりました。アフターコロナを迎えても、元の社会環境に戻るのではなく、社会の仕組みや価値観が大きく変わっていくであろうと言われています。

私たちの町でも少子化、人口減少、地域コミュニティの弱体化、引きこもりなど、様々な課題を抱えています。コロナ禍の今、新たな生活課題が生じ出てきています。それらの課題を社協と関係機関、地域の皆さんとでまずは共有し、地域の話し合いの場の中でどのように取り組んでいくのかを決めていくことが大事です。今後は心の豊かさを誰もが感じられるための地域づくりが求められており、そのために私たち社協は一層力強く取り組んで参ります。

今回策定した「社協第3次地域福祉推進計画」においては、8つの活動目標を掲げた5か年計画としており、これからの地域福祉を推進するにあたり社協の取り組みに加え、地域の皆さんや関係機関も一緒になって取り組んでいただきたいことを示した計画書となっています。またこの計画書は社協の計画書であって地域のみなさんの計画書でもあります。そのため一人でも多くの方々にこの計画書に目を通していただくことを切に希望いたします。

私たちの地域の将来は、私たち一人一人にかかっており、みんなで考え、できることから始めていく、その小さな活動がやがては大きなうねりとなり、誰もが笑顔あふれる地域につながることを確信いたします。

なお最後に、この計画書を策定するにあたり、何度も会議を重ね、熱心に討論いただいた策定委員会委員の皆様、ニーズ調査のために実施したアンケートへ貴重な意見を賜りました多くの関係各位の皆様方に、心から厚く御礼を申し上げます。

令和3年3月

社会福祉法人 神河町社会福祉協議会  
会長 秋 山 紀 史



# 目次

## 第1章 社会福祉協議会とは

- 1 社協の性格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 社協の使命と特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 社協活動の6つの原則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

## 第2章 地域福祉推進計画（第3次）の策定にあたり

- 1 社会福祉を取り巻く現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 2 『地域共生社会』の実現に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 3 地域福祉推進計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 4 計画の推進期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 5 計画の進行管理と神河町地域福祉計画との関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 6 第2次地域福祉推進計画の取り組みと評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

## 第3章 第3次地域福祉推進計画

- 1 総合目標と8つの活動目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- 2 活動を進める2つの視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- 総合体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- ①違いを認め合う福祉教育をいろんな世代ですすめよう！・・・・・・・・・・・・・13
- ②ひとりぼっちをつくらない地域にしよう！・・・・・・・・・・・・・14
- ③見守りあい、支えあう仕組みづくりをすすめよう！・・・・・・・・・・・・・15
- ④身近な困りごとをキャッチしてつなごう！・・・・・・・・・・・・・16
- ⑤誰もが活躍する場をつくろう！・・・・・・・・・・・・・17
- ⑥みんなでボランティアの輪をひろげよう！・・・・・・・・・・・・・18
- ⑦先への不安を取り除く福祉活動を展開しよう！・・・・・・・・・・・・・19
- ⑧地域で防災・減災に取り組もう！・・・・・・・・・・・・・20

## 資料編

- 1 アンケート結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 2 策定委員会での意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
- 3 神河町の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
- 4 第3次地域福祉推進計画策定委員会設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
- 5 策定委員会・職員部会開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
- 6 第3次地域福祉推進計画策定委員会名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

## 第1章 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会（以下「社協」という）は、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明確に位置付けられており、すべての都道府県・市区町村に設置されている社会福祉法人格を持つ民間の福祉推進団体です。

### 1 社協の性格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

社協は、地域住民を基盤とし、住民の自己決定・通常生活の継続・総合的視点の尊重などの基本理念に基づき地域福祉の実現を目指す、公共的な性格を有する地域福祉推進の中核的民間組織です。

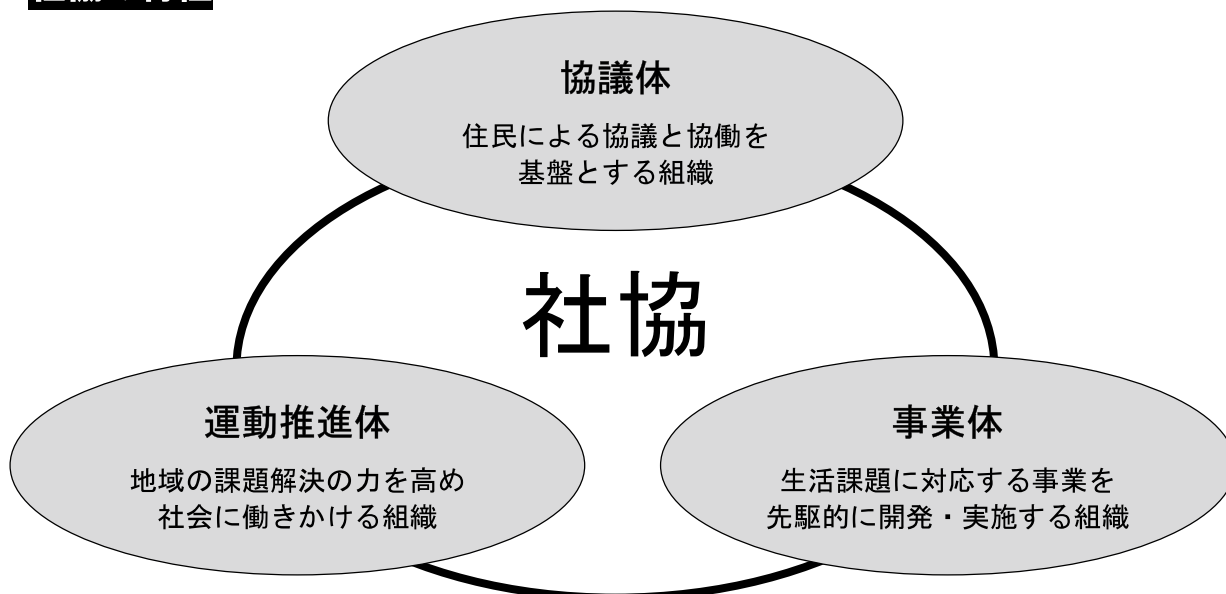
社協は、地域住民や当事者のニーズに寄り添った活動を進めるとともに、保健・医療・福祉その他関連領域との連携を図り、必要に応じて在宅福祉サービス等事業の企画と実施に努めます。

### 2 社協の使命と特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

社協の使命は、「当事者・住民の主体性を原動力としながら、生活課題を抱える一人ひとりが地域の一員として、『自分らしく』暮らせる地域社会（＝福祉コミュニティ）づくりを進める」ことです。自らの生活と地域を築く主役は、住民一人ひとりであるという考え方にに基づき、当事者の生活課題の解決に向けた住民の主体的な取り組みを支援することをあらわしています。つまり、当事者の生活の気づきや共感を出発点にししながら、一人ひとりの主体性をつなぎ合わせ、ノーマライゼーションの理念が根付く福祉コミュニティづくりを図ることが社協の使命なのです。どれだけ情勢が変化しようとも、変えてはならない社協の原点です。

この使命に基づく社協には①地域住民を基盤とした「協議体」、②地域福祉を進める「運動推進体」、③先駆的・開拓的に地域の課題に対応する「事業体」の3つの特性があります。これらの特性を融合しながら、生活課題の解決に向け、住民が持つ力を掘り起こしそれを集めながら地域の福祉力を高めていく取り組みが、他の社会福祉法人とは異なる『社協らしさ』であると言えます。

### 社協の特性



### 3 社協活動の6つの原則・・・・・・・・・・・・・・・・

社協は、地域福祉の実現を目指し、次の6つの原則に基づいて活動を進めます。これは、兵庫県社会福祉協議会が、平成3年に定義したものです。

#### ①ノーマライゼーションの原則

社協は、すべての住民の社会、経済、文化等のあらゆる分野での社会参加と通常生活を保障することを目指します。また社協はその組織運営及び活動においてもその実現を目指します。

#### ②住民ニーズ基本の原則

社協は、住民の福祉課題の把握に努め、その課題解決のための諸活動を計画し、実施します。

#### ③自己決定の原則

社協は、住民が自分の生き方や物事を自身で決める権利を持ち、その確実な決定及び選択をすることを尊重するとともに、社協組織の運営やその諸活動に主体的に決定するよう援助します。

#### ④継続性の原則

社協は、住民の福祉課題を解決するにあたって、これまでの生活の継続を保障する活動を推進します。

#### ⑤総合性の原則

社協は、生活者の立場にたって、公私の社会福祉、保健・医療・教育・労働等の関連分野の関係者と連携を深め、地域福祉の総合的な企画・推進を図ります。

#### ⑥民間性の原則

社協は、社会福祉の公共性を尊重し、かつ地域福祉を推進する中核的民間組織として、住民の参加を基盤とする創造性、先駆性、柔軟性、開拓性を発揮します。